

進路ナビ

平成27年9月4日(金)

第33号 千葉県立千葉工業高校
(15-5) 進路指導部

本番間近！！

まもなく(9月16日から)高校生の就職試験が始まります。進学の人もAO入試に続き、指定校推薦、一般推薦、一般入試とこれからどんどん進んでいきます。気を引き締めていきましょう。

本校では、昨年に引き続き**高校生を初めて採用する会社や久しぶりに採用することになった、という会社**からの求人が増え、応募に関しては本人の希望がほぼ叶うというありがたい結果になりました。工業高校の生徒は即戦力になるし、「ものづくり」に関する意識があるというのも非常に好ましいようで、「是非欲しい」と言っていただけなのはありがたいことでした。会社によって、求める人材の条件は違いますが「**コミュニケーション能力がある**」ことをあげる方が多かったのは今までと同じです。そして、会社見学で**元気よく挨拶をし、質問を多くした生徒は好印象を持ってもらった**ようです。1、2年生は期待に応えられるよう、このことを意識してこれからの高校生活を送ってください。3年生は面接でこれらをうまくアピールできるといいですね。その面接については以下の記事で確認してください。

面接の心得

昨年も書きましたが、面接は進学希望の人でも就職希望の人でも避けて通れないので、ここで面接の心得を書いておきますね。

面接を受けるにあたって大事なことは、まず**受け身にならないこと**です。面接を受ける人のほとんどが、「何を聞かれるのだろう」「うまく答えられるだろうか」「礼法がきちんとできるだろうか」とびくびくしています。とても残念なことです。面接は**皆さんの良さをアピールできるチャンス**なのです。これを「びくびく」で対応してしまっただけではもったいないでしょ！堂々と答えられるようにしましょう。

【その1】あらかじめ予想される質問には答えられるようにしておくこと。(進路資料室にある「入社試験報告書」「入試報告書」や『進路のしおり』14～15ページ参照)

進学希望の人は少なくとも志望理由が答えられないようでは困ります。必ずその学校を選んだ理由とその学部・学科を選んだ理由をそれぞれ答えられるようにしておきましょう。たとえ指定校推薦だとしても、これすら答えられないと不合格になりますよ！

【その2】質問を受けたらまず返事をする。

(例) 質問者…「あなたの趣味は何ですか。」

あなた…「はい。釣りです。休日に祖父と海釣りに行くのを楽しみにしています。」

ここで注意したいのは「はい。私の趣味は…」のように、相手の質問を繰り返さないことです。また、「欠席は多いですか。」と聞かれて、うっかり「はい。」と答えないようにしましょう。この場合は「いいえ。欠席はありません。今のところ皆勤です。」となります。

【その3】一言で答えを終わらせないこと。

上の例でいうと「はい。釣りです。」だけで終わることです。これではせっかくのチャンスを活かさせませんし、相手がさらに質問を重ねなければならず、良い展開にはなりません。それに簡単なことでも質問をたたみかけられると焦ってしまいます。そのためにもこちらから先制攻撃(?)して、質問攻めを封じましょう。「一言添える」…これがコツです。

【その4】長々と語り過ぎないこと。

【その3】で書いたことを受けて張り切って準備をし、それを相手に伝えようと、ここぞとばかり語ってしまう人が時々いるのですが、実はこれも逆効果です。何事もほどほどというのが大事で、企業の方にその企業について、大学教授に大学についての知識を長々と披露するのはかえって失礼というものです。もし、言いたいことがあるなら「特に」「中でも」「格別」「主に」などの単語を使い、絞って答えることがポイントです。十分に調べたことは全部口に出さなくても、言外に伝わるものです。

【その5】黙ってしまわないこと。

難しいことを聞かれ、何も言わないまま時間だけが過ぎて、目はきょろきょろ、手足はもぞもぞ…最悪のパターンですね。こういうときは、「すみません。難しくわかりません。これから勉強していきたいです。」などと答えた方がましです。それも1回のみ有効だと思ってください。何でもかんでも「わかりません。」ではどうしようもないですからね。それと、即答しないようにしましょう。少し考えたけれども難しくわからなかった、ということが大事なのです。1, 2, 3くらいおいて「わかりません…」と言いましょう。

質問者は時に「えっ？」と思うような質問を投げかけてくることがあります。それは困ったときに皆さんがどのような対処をするか知りたいということが一番です。もちろん皆さんの実力もはかっています。用意してきたと思われる質問には、よどみなく答えられても、少し外れた質問には手も足も出なかったら悲しいですね。新聞などを読んで日頃から色々なことについて考える習慣をつけるよう心がけましょう。(特に1, 2年生はこれからですよ。)

【その6】真面目もほどほどに。でも言葉遣いはくずさずに。

面接官は皆さんの緊張をほぐそうと、くだけた調子で話しかけてくることがあります。そんな時ににこりともせず、真面目な顔だけだと、コミュニケーション能力に問題有りと思われる。「今年バレンタインデーに何個チョコもらったの？」(ある会社で本当にでた質問)なんて聞かれたら、笑顔で「残念ながら一つももらっていません。」と答えてしまいましょう。で、相手の方がかなり砕けた言葉遣い(緊張をほぐすためにわざとそうする会社があります)をして「彼女いるっしょ。」などと言っても、「いないっすよ。」などと答えてはいけません。「いえ、いません。」と言葉だけは丁寧に返してください。そして笑顔!!

細かいことを言えばきりがありませんが、初めに書いたとおり受け身にならないことです。自信を持って**大きな声でハキハキ**と答えましょう。答えはぱっとしなかったけど、**元気もあるし、意欲も感じられる、となれば好印象**を持ってもらうこともできます。**最後まであきらめないでください。**

諸手続について

3年生の進学希望の人は今後書類を準備する必要がありますが、調査書や推薦書などは発行に7日~10日ぐらいかかるので、願い出は余裕を持ってしましょう。(もし7日経ってももらえないときは一度担任に確認してみてください。)出願日初日に願書を出す方が意欲は感じてもらえるようですので(受験番号が小さい数字で分かる)そのことを意識して準備をしてみましょう。分からないことがあれば勝手な判断をせず、担任の先生や進路の先生に相談してくださいね。

